市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO

分科会No.11

市民社会をつくるボランタリーフォーラム

「親なきあと」を考える

～老障介護の現実と課題について～

ゲスト

吉川かおり さん

明星大学 人文学部 福祉実践学科 教授
障害学を担当　博士(社会福祉学)

2006年から2014年まで全日本手をつなぐ育成会理事、2014年から全国手をつなぐ育成会連合会運営委員、理事。家族支援ワークショップおよび知的障害のある本人支援のためのワークショッププログラムの開発・普及に従事。
障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりに関する条例策定に参画、現在は差別解消推進まちづくり協議会会長。

江相連

（江戸川区相談支援連絡協議会）

杉田 泉　主任相談支援専門員/
東京都障害者相談支援体制
整備事業特別アドバイザー
川島 真紀　主任相談支援専門員/
日本精神保健福祉士協会 代議員
溝部 奈緒　相談支援専門員/
江戸川区自立支援協議会
地域生活支援拠点部会委員

江戸川区において、障害者および障害児を対象に主に計画相談支援事業を行っています。
当事者の方へのご支援だけでなく、「支援者に対する支援」にも注力しているのが当法人の特徴です。支援する側の孤立防止や資質向上を図る活動に取り組み、地域全体の福祉の発展と向上を目指しています。

障がい分野の高齢期における課題として「親なきあと問題」というものがあります。本分科会では、講師の方に親なきあと問題に潜む様々な課題を解決していただくとともに、解決に向けて取り組む事例の紹介を通して、市民の立場で障がいのある方や周囲の方々を支える方法を模索します。

Vamos！

2025年2月9日（日）

10：00 ▸ 12：00

会場　**飯田橋セントラルプラザ**

〒162-0823　東京都新宿区神楽河岸１－１

日時・会場・参加費

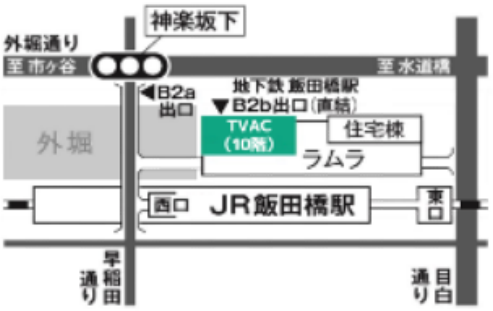
●分科会名：「親なきあと」を考える
～老障介護の現実と課題について～
●日　　時：2025年2月9日（日）：10：00～12：00
●参加方法：飯田橋セントラルプラザ12階・会議室AB
オンラインあり（Zoom）
●定　　員：会場40名、オンライン50名

市民社会をつくる ボランタリーフォーラムTOKYO

市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO 2025について

「分科会⑪：「親なきあと」を考える～老障介護の現実と課題について～」はく市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2025＞の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。今年のテーマは「Vamos！市民社会のミライ～そのときわたしたちは何をしているだろうか？」みなさまのご参加をお待ちしています！

●開催期間：2025年2月8日（土）～9日（日）
●会場：飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか
●参加費：１分科会1,000円
会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円
（オンラインへの変更不可）
＊学生（専門学校含む）または18歳未満の方は無料
●企画：ボランタリーフォーラム TOKYO 2025実行委員会
●主催：東京ボランティア・市民活動センター
●アクセス：ＪＲ総武線・飯田橋駅西口改札右手、
地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線飯田橋駅B2b出口



参加申し込み方法

「分科会⑪：「親なきあと」を考える～老障介護の現実と課題について～」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。（同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます）
参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。
ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。

［お問い合わせ・お申し込み先］
東京ボランティア・市民活動センター　（担当：後藤・山添・太田・吉田・高山）
〒162-0823東京都新宿区神楽河岸1-1飯田橋セントラルプラザ10階
TEL 03-3235-1171 / FAX 03-3235-0050 / https://www.tvac.or.jp/vf/

Facebook　X（旧 Twitter）　Instagram　YouTube